

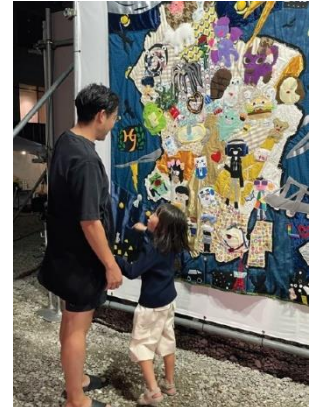
【事業実績】

事業① 小・中・高校生とアーティストによるアート共同制作

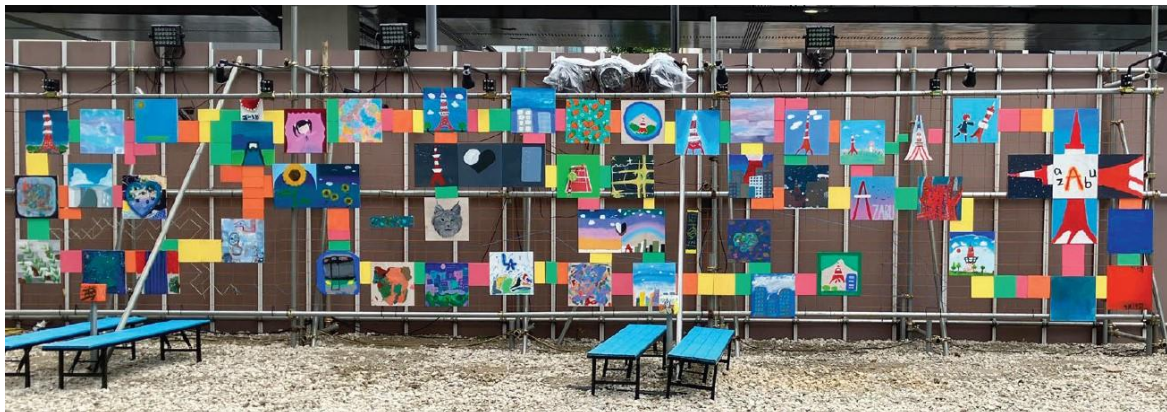
港区にある区立麻布小学校、区立六本木中学校、広尾学園中学校・高等学校の有志の生徒たちが現代美術アーティストの青山悟、山本品との協働により美術作品を共同制作し、9月27日～29日に現在空き地となっている麻布消防署仮庁舎建設用地で一般公開した。

完成作品：

- a) 青山悟＋広尾学園中学校・高等学校有志《カオスな仲間たちと夜更かし》 2024年
布、フェルト、糸、接着剤ほか 200×200cm



- b) 山本品＋麻布小学校・六本木中学校有志《麻布・六本木絵すごろく》 2024年
板にアクリルほか サイズ可変



この公開イベントは、六本木商店街振興組合が主催し広尾学園高等学校、都立六本木高等学校の有志高校生が企画・制作したアート、フード、ステージで構成されるイベント「6 フェス／ ROPPONGI CROSSCHOOL ☆FESTIVAL」の一部であるアートセクションとして実施され、27日夕方にはオープニングセレモニーも開催。このフェスティバルは六本木地区で毎年開催される大型アートイベント「六本木アートナイト 2024」と同時開催され、約 1000 人の来場者が作品を鑑賞した。



事業② 小・中・高校生とアーティストによるアート鑑賞ワークショップ、振り返りの会、 および記録集の作成

森美術館のラーニング担当のガイドにより、3校の生徒たちと青山悟、山本品が六本木ヒルズにあるパブリックアート作品を鑑賞し、作品のコンセプトや、誕生した経緯、その背景にある六本木地区の歴史を学び、作品鑑賞後に感想を共有した。

その後に開催された振り返りの会では、本事業に参加した生徒、学校校長や担当教員、アーティスト2人、六本木商店街振興組合理事長、森ビル株式会社、森美術館職員、本事業コーディネーターなどが参加。共同制作、作品公開、アート鑑賞ワークショップに参加した全体的な所感を共有し、アーティスト2人と生徒たちの間で活発な意見交換・質疑応答がなされた。



●参加生徒の感想

- ・今までとは違う活動で、新鮮さを感じた。アーティストと一緒に作品を作ったり、一人で集中して作るだけでなく友達とアイデアを交換しあったりすることで、新たな気づきなどがあり、自分の作品をさらに良いものへと仕上げることができた。
- ・一つひとつの絵に個性が出ていて面白いと思った。
- ・作っている時、アーティストがアドバイスをしてくれたおかげで、自分の描きたい物を描く事ができた。展示されているのを見た時、みんなの個性が輝いていると感じた。
- ・筆使いや色の出し方が難しかったが、アーティストに教えてもらえて上手くできた。
- ・六本木に飾られている自分の作品を見ることができ、とてもうれしかった。
- ・団体で作品を作ったのは初めてだったので難しかったが、挑戦したことのないジャンルのものが作れてよかった。
- ・みんなで作った作品が飾られていて達成感があった。

●各校担当教員の感想

- ・友達と相談しあったり、互いの作品を見て個性を認識しあったり、アーティストと生徒たちの間だけでなく、生徒同士の間でもいつもと違うコミュニケーションが生まれた作品制作の時間となった。また、生徒たちがアートに関わるいろんな仕事を知る機会にもなった。仮に生徒たちの人生に直接関わらないことでも、考え方に影響を与える経験になったと思う。
- ・展示を見て感動した。アートっていいなと自分自身も感じる事ができた。
- ・生徒にとって良い経験をさせてもらった。また自分にとっても生徒はこんなアイデアを浮かべることができるのだと発見があった。

●記録集およびウェブサイト

活動内容や振り返りの会の議論の内容も含めたオンラインの記録集を通じて、概要を公開し、全国各地の文化施設関係者への事例紹介としたほか、地元住民との情報の共有に努めた。「六本木アートナイト 2024」ウェブサイト上には完成作品の概要を掲載し(<https://www.roppongiartnight.com/2024/programs/21004> および <https://www.roppongiartnight.com/2024/programs/21006>)、記録集のダウンロードを可能とした。

以上